

ハート・オブ・ゴールド



2008年12月25日発行

発行/編集 ハート・オブ・ゴールド事務局

本部 〒701-1213 岡山市西辛川872-2

T&F 086-284-9700

メール:hginfo@hofg.org

URL: <http://www.hofg.org/>



第13回アンコールワット国際ハーフマラソン 2008

12月7日（日）アンコールワット周回特設コースで

本年も世界中から多くの参加者を迎えて盛大に開催されました。

年々、認知度も高くなってきており、参加国42ヶ国、参加者2945人（ランナー：2,593人、ウォーカー：198人、バイカー：154人）となり、前回は約500人上回る大会となりました。障がい者の参加も75人と大幅に増加しました。

天候も、20℃～26℃とさわやかな気候に恵まれ、走りやすい条件でした。

種目は、ハーフ（男・女）、10キロ（男・女）、5キロ（女）、車いす、義足、3キロファンランと早朝のアンコールワット遺跡内、特別周回コースに選手が次々とスタートしていきました。

ハーフマラソン男子の1位は、以前も本大会で優勝し、かすみがうらマラソンに招待されたHem Bunting

氏で、彼は今年の北京オリンピックにカンボジア代表選手として出場しました。

場内は、日本からのボランティアさんも、コース誘導、完走賞配布、水配布と大活躍でした。

前日6日は、昨年のようにプレイベントとして、遺跡内で、ウォーキング（HG主催）とバイクレース（Village Focus International 主催）がありました。

夕方には前夜祭が開催され、カンボジア観光大使、在カンボジア日本大使をはじめ、関係者やマラソン参加者など、多くの人がつどいました。

大会を支援して下さるスポンサー、現地でボランティアをして下さる方、大会準備に汗を流す方、競技に参加くださる方、それぞれの皆様のおかげと紙面を借りてお礼申し上げます。

ありがとうございました。



ハーフマラソン男子入賞者



ウォーキング後のレクリエーション



手をふりながら走る有森代表

AWHM 2009 は、2009年12月6日（日）開催です！

チェイ小学校体育科指導会

12月8-9日 公立チェイ小学校（シェムリアップ州）

第13回アンコールワット国際ハーフマラソンが、盛大に開催された翌8日から、7月にできあがったばかりのカンボジア王国小学校体育科学習指導書を用いて、初めての教員に対する指導会が実施されました。

チェイ小学校ほか近隣5校の全6校の小学校教員30名と、教育省からは、将来、ナショナルトレーナーとしてワークショップの指導員となる5名と、日本からは岡山県国際交流推進機構の専門家指導員、HG 会員ボランティアを含む33名が参加しました。

講義と実践を組み合わせた授業で、体育の授業になじみがない教員達も、実習では驚くほど高い運動神経で、とても熱心に取り組んでいました。

言葉の壁はあっても、日本からの指導員やボランティアと先生方はとても親しくなり、夜の交流会はとても盛り上がりました。

9日は、前日学んだ指導案をもとに、4、5、6年（1クラス40名）の児童た

ちに、カンボジアの先生方による、陸上・サッカー・バスケ・バレーの実践授業が行われま

した。初めての本格的な楽しい体育授業に、運動場いっぱいには笑い声と歓声がわき、これから体育の授業が広がっていくことをみな確信しました。

今回の指導会に先立ち、同校の運動場の整備が行われました。（岡山県補助金交付事業）

◎サッカーコート	1面
◎バレーボールコート	2面
◎バスケットコート	1面
◎陸上50メートルコース	4連
◎陸上砂場（幅・高飛び兼用）	1面
◎陸上（小）トラック	1連

教育省から参加した5名は、将来ナショナルトレーナーとしてカンボジア全土の先生方を指導されることになるので、熱心に取り組まれました。今後もHGはカンボジアに本格的な保健・体育科授業が浸透するように支援したいと思います。



陸上運動の指導者として参加

岡山大学大学院 光永 知己

今回、ツアーへ参加するに当たり、大学から一人で参加していたこともあり、「友達できるかなあ…カンボジアの先生相手に指導なんてできるのかなあ…」と、不安だらけで、恐る恐るに参加しました。しかし、非常に密度の濃い6日間を過ごした今、非常に誇らしく、すがすがしい気持ちで、岡山空港に降り立ちました。

まず、今回の指導会は、自分達が指導者として、カンボジアの先生に学習指導要領に基づく体育指導法を指導し、先生がそれを基に指導案を作成、翌日それを基にした研究授業として実践、という流れでした。指導は決して簡単なものではありませんでしたが、通訳を介して1つ1つ理解してもらうまで全力で、「言って聞かせてさせてみせ」を繰り返しました。その結果、先生達による研究授業は大成功を収め、最後には会場一体となって拍手喝采が起こりました。先生方も自分たちの全力の指導に、

全力の授業で応えてくれました。前日の努力が実を結んだその時の感動は、時間が経った今でもうまく表現できませんが、一生忘れることはないでしょう。激しい感動のあまり「何も言えねえ」状態でした。

また、研究授業の後に、先生達から感想を聞く時間がありました。それぞれに異なることをおっしゃられていましたが、体育の指導要領も無い、という状態にも関わらず、陸上運動を通して、体育の本質を学び取っていたことに驚かされました。実践を通して学ぶこと、与えることがいかに大きいか、改めて思い知らされました。そして、一度の授業を通してそこまで学び取ってしまうカンボジアの先生方の教育に対する姿勢にも驚かされました。その姿勢を持って、今回各学年で行われた指導を先生同士で共有、更なる実践を重ねていけば、必ずカンボジアの子ども



達にも、体育、スポーツの持つ本質的な素晴らしさを理解してもらえ、そう確信しました。

最後に、今回の指導会を企画・運営してくださった方々、高い意識を持って参加された方々、みんなの力がひとつとなって素晴らしいものを創り上げることができました。また、今までの積み重ねがあつてこそ、自分たちの指導によってカンボジアにおける体育のスタートを切ることができました。皆様に、心より厚く、厚く、御礼申し上げます。今後より一層のカンボジア体育の発展をお祈りするとともに、私も機会がありましたら微力ながらお力添えしていければと思います。オーケンチュラン！

写真で見る

新チャイルド・ケア・センター建設 建設技術移転事業 第2期工事



昨年の男子寮に引き続き、今年は女子寮を大隅棟梁の指導の下、建築中。

HGCIYA-JYA

「健康のため、衛生に注意しよう！」

9月8日-16日、プノンペン1校、シェムリアップ1校

今回は、手洗いや歯磨き、煮沸した水を飲むことなど「自分の衛生：hygiene」と、ゴミはポイポイ散らかすのではなく、きちんと決められた場所に捨てて、清潔な環境を保とうという「まわりの衛生：sanitation」の2点を中心に小学校での衛生キャンペーンや清掃活動を企画。また、子どもたちが楽しく活動に参加で



ミーティング中

きるよう、劇やクイズ、紙芝居などを取り入れて活動した。

5月初めから9月にかけて、カンボジアを中心に合計13回の事前ミーティングを行った。

今回の活動は、自分たち自身の行動を見直すことにつながり、また、ミーティングや勉強会を行って、HGCIYAは日本で行われているゴミ削減の工夫や衛生に対する意識などを学び、HGJYAはカンボジアの衛生状況やごみ処理に関する現状を学んだ。そして互いに学びあうことは、HGCIYA-JYAそれぞれの自国の現状や問題点を振り返る事につながり、自分が知った事を周りの人にも伝えていくことも重要であると考えた。

HG アジア地域事務所長 就任のご挨拶 —— 柳田 信一

8月1日よりアジア地域事務所（プノンペン）所長に就任いたしました。

尚、山口前所長はプロジェクトマネジャー兼所長代理として当地に引き続き滞在し、小学校体育科教育、保健教育の展開に尽力していただき、私はアンコールワット国際ハーフマラソン運営支援、その他プロジェクト、事務所管理全般を担当いたします。決して恵まれているとはいえない環境で任務に励む日本人駐在員、及び現地ナショナルスタッフの皆さんが仕事に安心して励むことができる体制を作ること、そしてナショナルスタッフが日本人駐在員が不要となるぐらいまでに育つ支援をすることを最重要課題と認識し、業務に励んでまいり所存ですので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

私は2006年8月に民間企業を定年退職、在職中から考えていた企業での経験を生かせる海外での非営利活動の仕事を探している時に、縁あってハート・オブ・ゴールドの皆さんと一緒にカンボジアでの支援活動に足を踏み入れました。

企業とは異なる NGO の組織運営に戸惑うこともあ

りますが、少しでも『スポーツをする機会を提供し、それによりカンボジアの社会が良くなることに貢献する』活動に足跡が残せれば、と考えております。

カンボジアの社会はまだまだ仕組みが不十分で、改めていかななくてはならないことが山積しています。経済的に恵まれていない人も多し、治安も良くありません。でも、カンボジアで生活していて強く感じることは、キラキラ輝く若い人が大勢いるということです。昼間働き、夜大学で勉強する人は珍しくありません。自分も生活費に苦労しているのにボランティア活動に励む人もいます。こういう若い人たちが社会を動かすまでには長い時間がかかるでしょう。でも、大河の一滴でも、それが少しずつ大きな流れになるのです。

私はカンボジア駐在中にできるだけこうした若い人たちと交流し、色々な形でお手伝いをしたいと思います。

ハート・オブ・ゴールド会員、関係者の皆様も、是非、カンボジアを訪れ、ご自分の目でカンボジアを見てください。そして、自分の国を良くするために頑張っているカンボジアの人たちへのご支援をよろしくお願いいたします。

ソッキイアさん 外国人による 日本語弁論大会で優秀賞



来日してから半年が過ぎ、学校生活にも寮生活にも慣れました。

夏休みには神戸の病院で看護補助の体験を10日間行い、看護師への夢をさらに膨らませました。

11月30日(日)には、第25回「外国人による日本語弁論大会」(岡山国際交流センター・国際会議場、テーマ「あなたの国、わたしの国」、出場者7ヶ国19人)に出場。「カンボジアの生活と日本の生活」について日本語で述べ、見事に優秀賞を獲得しました。

HG10 周年記念交流会・西日本

9月13日、会場となった川村義肢(株)大東工場の義肢義足資料館と工場の見学後、プレゼンホールにて交流会を行いました。萩原理事長、有森代表、武藤西日本支部リーダーの出席のもと、感謝状の授与式、そして、川村社長、高橋明氏(アダプテッドスポーツ代表)、有森代表ら3名による義肢義足についての記念対談。その後、朝から準備して頂きました有名パン屋のサンドイッチやデザートなどで茶話会が始まり、日頃よりボランティアやマラソンツアーなどで顔見知りの出席者が多く、楽しく会話が弾んでいました。



第2回吹田中の島チャリティ・バイアスロン&3時間走

9月14日(日) 中の島公園〜神崎川河川敷特設コース(吹田市)

昨年から「耐久5時間走」を改め、小学生から参加出来る簡単なゲームを取り入れた「バイアスロン(二人リレーとゲームを行う)」の種目を追加し、従来の時間走は3時間に短縮しての開催となりました。

大会当日は、少し暑い感じの日差しの好天の中で開催する事ができました。1時間早くスタートした3時間走も順調に進んだ頃の11時からバイアスロン



のスタートが始まり、3時間走ランナーとバイアスロンランナーで走路が花盛りとなり、バイアスロンは周回毎のゲーム(玉入れ、吹き矢、弓矢、水鉄砲のどれか一つ)も競い合いながら、ゲームに挑戦する親子、夫婦、友達同士と応援しながらの楽しく微笑ましい雰囲気伝わってきました。

第25回おがち健康マラソン

10月5日(日) 湯沢市立雄勝中学校グラウンド

天候に恵まれた秋晴れのなかで、2歳の幼児から87歳のお年寄りまでの市民が集い、まさに地域スポーツクラブの目的でもある、世代や男女の区別なく、皆さんがスポーツを通して交流を深めた。



また、会場内にはカンボジアからのお礼の手紙や写真が掲示されており、こまちハート・オブ・ゴールドの国際協力活動の様子がよくわかった。急遽参加できなくなった有森代表の代わりに、志水見千子さん(バルセロナ・シドニーオリンピック日本代表、5000メートル)がゲストランナーとして、子ども達へのウォーキング指導を行ったり、マラソンに参加した。

第14回浦安チャリティ・ウォーク

Walk for the Children (世界の子ども達のために)

11月16日(日) 浦安市運動公園

主催：浦安ロータリークラブ

今にも降りだしそうな天候のなか、募金を手にした親子ずれやOL、サラリーマン、シルバーの方々車いすでの参加の方々が、ディ



ズニーランドのそばにある運動公園に集まった。昨年はどしゃ降りでの開催だったようで、「今年はいいい天気だなあ」との声も。浦安のホテルの美味しい料理が格安で食べられることも、このウォークの魅力のようです。

これまでベトナム、フィリピンの子ども達への支援を続けてこられており、今年は、カンボジアの子ども達にも支援をいただけることになりました。参加者は、約500人で、ボランティアの方もたくさん活躍されていました。

ご支援・ご協力ありがとうございました。HGではこのようなチャリティーイベントを募集しています。ぜひご紹介ください。

活動報告会開催 (NGO フェスタにて)

10月17-18日、岡山国際交流センター

18日の報告会では、アジア地域事務所
の山口拓が、また「カンボジアで見
た事、聞いたこと、考えたこと」と題
し、HGCYA-JYA 参加大学生、ノ
ートルダム清心女子大学(佐伯聖子、高杉



安恵、黒崎千弘、新家祐
子) 4名が発表。17から
18日、HGブースも開設
し、活動パネルの展示、
オリジナルグッズの販
売を行った。



X'mas チャリティ・ディナー at 三井倶楽部

12月19日(金)

今年で第3回目となる会に117名もの方々に参加して
頂き盛大に開催されました。お食事のあとは、桑名正弘
さんのミニコンサート、森末慎二さんのオリンピック落
語を楽しみました。チャリティーオークションでは、王、
清原、桑田、ダルビッシュ選手などからのサイン入り
バットやボール、北京五輪で活躍した北島、室伏、浅原
選手他のグッズ。そのほか歌手、タレント、スポーツ選
手など多くの方々のご協力をいただき、今回この会から
2,371,000円のご寄付をいただきました。

関係者の皆様に篤く感謝いたします。

着任挨拶

中島 美穂

はじめまして、この6月1日よりHGアジア事務所に赴
任しました。

5月31日夜、むっとするような暑さのプノンペンにお
りたち早半年が過ぎました。首都プノンペンは小さい町
ではありますが、日々新たな発見があり、興味は尽きま
せん。思っていた以上に英語が通じるのでカンボジア語
はまったく話せないまま、数字を少し覚えた程度ですが
市場での買い物もなんとかできるようになりました。

アンコールワット国際ハーフマラソン、小学校での体
育科指導会が立て続けにあり、準備に追われていました。
目の前に来ることをどうにかこうにかこなしていくこと
で精一杯で、気づくとすべて終わっていたというくらい
です。

小学校では、ボールを持って離れない子どもたち、と
てもうれしそうにボールで遊ぶ子どもたちを見るにつけ、
もっとがんばろうと気持ちを新たにしました。まだまだ
未熟でマラソンでお目にかかった多くのボランティアの
方々の足元にも及ばない程度にしか役に立ちませんが、
HGの一員として日々精進してまいりたいと思います。皆
様のご支援ご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願いしま
す。カンボジアにお越しのときは、ぜひご一報ください。

会員の皆様にお目にかかる機会を楽しみにしています。

活動便り

●7月

- 3. 銀座国際音楽祭
- 5. HG 通信発行
- 20. 日本国際ドラゴンボート大会
- 26. インターアクト岡山地区大会[有森代表講演]
- 28-29. 事業報告(JICA 中国、つくば大学)
- 31. JICA草の根技術協力事業(小学校体育科指導書作成)完了

●8月

- 6. ESD 授業研修会
- 9-11. 岡山県高校生の集い[スライミー・ソッキイア]
- 13. JICA プロジェクト・クロージング・セレモニー(カ)
- 17. スライミー帰国(留学終了)
- 30. 岡山大学スタディツアー受入(カ)
- 31. 関空ドラゴンボート大会

●9月

- 2. 参加型開発勉強会参加、岡大ミッションとの交流会(カ)
- 8-16. HGCYA-JYA 活動(カ)
- 12. JICA 草の根技術協力事業、最終報告会(JICA カンボジア)
- 13. HG10周年記念交流会/西日本
- 14. 第2回吹田中の島チャリティー・バイアスロン & 3時間走
- 15. ステアレース 2008 東京大会
- 18-21. 第10回 CHUO 国際協力フォーラム[ソッキイア]
- 24-28. ESD ユネスコ国際会議(岡山市)

●10月

- 5. おがち健康マラソン
- 18. 岡山 NGO フェスタ / 活動報告会
- 19. 第23回ヒロシマ MIKAN マラソン(江田島市)
チャリティー・ラクロスフェスタ in 東北工業大学
- 24. 岡山大学講義[山口]
- 29. 全国体育教育研究会(盛岡市)
- 31. NIPPON SYMPHONY CONCERT

●11月

- 15. 浦安ロータリークラブ/チャリティーウォーキング大会

●12月

- 5. AWHM スタディツアー出発
- 6. アンコールウォーキング、AWHM 前夜祭
- 7. AWHM2008
- 8-9. チェイ小体育科指導会(カ)
- 19. HG クリスマス・チャリティー・ディナー
- 23. 有森杯山陽女子ロードレース
- 27. HG 通信発行

この冬も登ります！

HofG チャリティー耐寒登山

今回で3回目を迎えます。会員親睦登山、自然(マイナス
イオン)を満喫してみませんか？

大阪で唯一樹氷(雪があれば)が綺麗で有名な金剛山に登
ってみませんか？

ご友人、ご家族等会員以外の方の参加大歓迎！！

日 時 2月15日(日曜日) 小雨、降雪決行

集合時間 10時 10時30分出発予定

参 加 費 ¥500(すべてチャリティーとさせていただきます)

集合場所 金剛山登山口徒歩2分、さわやかトイレ前駐車場

持 ち 物 アイゼン(積雪時)、飲料水、着替え、弁当、おやつetc

集合場所への交通機関

＜南海電車利用＞南海高野線、難波駅～河内長野駅、
バス、金剛山ロープウェイ行き、金剛登山口下車。

＜近鉄電車利用＞南大阪線、近鉄阿倍野橋～古市～富田林、
バス、千早線 金剛登山口下車。

※当日の怪我、疾病につきましては個人の責任に於いて
参加して下さい。

※参加確認は致しません、気軽に参加下さい。現地集合、
現地解散！！※参加希望各位様へ、日頃から歩いておい
て下さいね！！

※問い合わせ、連絡事項「西日本ボランティアリーダー」

武藤(090-9753-2074)まで